

令和7年度 自己評価結果公表シート

幼保連携型認定こども園 山王幼稚園

1、園の教育目標

「つよいこ」「ただしこ」「げんきなこ」を建学の精神とし、
前園長の「子どもは、みんな平等に教育を受ける権利がある。」を原点に
健常児とハンディのある子が一緒に遊ぶ統合教育を行っている。
本園ではめざす幼児像として次の3項目を掲げる。

- 1 つよいこ・・・どのような事にぶつかっても、へこたれないでやりぬく人間に。
- 2 ただしこ・・・人間性を正しく表現できる人間に。
- 3 げんきなこ・・・お互いに元気で協力し合える人間に。

2、本年度重点に取り組む目標・計画

子どもの成長や発達段階に沿った教育課程、指導計画の検討、保育内容の充実に努める。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
園の教育理念・教育方針に従い、保育計画を編成している。	年度初めに教育課程、全体計画を見直し、教育理念の理解を深めている。
教育要領・教育課程、子どもの実態などをもとに考えて指導計画を作成している。	前年度の指導計画・反省を元に話し合い、一人ひとりの子どもの成長促進をはかれるよう子どもの実態に基づいた計画について作成している。

週ごとに、各学年で、クラスの成果・課題・状況を話し合い、報告する。	各学年で、週の目標を決め、毎週話し合い計画を立てたり、毎日反省・評価を深め、保育をより良いものに変えていく。また月ごとにも振り返りをおこない、課題を見出していく。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導・助言を行う。	登園から降園までの一日の流れの中で、子どもの体調や様子の変化に配慮し、身に付けて欲しい生活習慣の方法を伝え、進んでおこなえる様促していく。
教師の質の向上を図るために園内研修を充実させる。	教師の質を高めるため、そして子どもの理解を深める為、研修を定期的実施し、日々子ども達の姿について話し合う機会を職員会議でもつ様にし、みんなで向上する環境を作っている。
各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	各種研修会や研究会に参加し、学んだ事を感想に残したり資料として全職員に提供し、共有化を図るようにしている。
統合保育の理念に基づき子ども達が遊びを通して協力し合える様 援助する。	支援が必要な幼児、ない幼児がお互いの良さを認め遊びを通して社会性や人間性を育てていくようにしている。作業療法士や外部機関と連携を図り指導している。
地域開放事業を行い、情報を公開している。	インターネットでのHP公開や一時預かり事業の提供、子育て支援事業として支援センター地域開放をおこなっている。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子どもの成長に合わせた保育環境の設定を考えてきた。園全体が目標・計画について、理解を深め、全職員が共通理解し達成に向け努力してきた。子どもが主体的に遊べる環境作りについては、日々の振り返りを継続し、改善していく。

5、今後取り組むべき課題

現状の保育理念に配慮しつつ、子育て中の保護者にとって通いやすい受け入れ時間や保育内容を考えていきたい。

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。